

2025年度 こども園評価書

堺市立 共愛 こども園

**教育・保育理念**  
 ・自分も友だちも大切にできる心の育成 ・学びの芽の育成 ・自分の可能性や能力を十分に発揮できる力の育成

**2025年度重点目標**  
 ・健康でしなやかな心と体を育てる  
 ・人の話を聞く力、自分の思いを伝える力、人の気持ちに気づく力を育てる  
 ・子どもが主体的に遊び、ときめき、ひらめき、イメージを大事にした教育・保育を進めていく  
 ・小学校、中学校、保育園、こども園及び関係機関などが連携し、学びと育ちにつなげる  
 ・保護者と一緒に子どもの成長を喜び合い、ともに子育てをしていく

**重点項目**  
 「わたしもだいじ あなたもだいじ みーんなだいじ」を軸に子どもが主体的に遊び仲間をくぐって自己肯定感を育む。また様々な家庭状況や保護者の思いを理解し寄り添いながら子育て支援の充実を図り子どもの発達と学びを保障する。

重点目標	重点目標に向けた具体策	評価項目	自己評価	学校関係者評価
	人権を大切にすることを育てる	一人ひとりの思いを受けとめ、安心できる環境のもと自己肯定感を育てる ・教育・保育の中で、一人ひとりの違いを尊重し合い、人権を大切にできるクラス運営を行う	A A	B A
健康でしなやかな心とか	・「早寝・早起き・朝ごはん」を推進し、生活リズムの大切さと遊びを通じた経験の重要性を伝え、保護者とともに行う取り組みをしながら適正な登園時間を進める ・毎朝のアートヨガで気持ちの安定と体ほぐしをするとともに、バランスの取れた体づくりをする 散歩や戸外での遊びを通して体を存分に動かし、積み重ねの中で体づくりに取り組み	・家庭状況を理解し連携しながら、子どもが安心できる心地よい居場所になるように努め、親子で登園を楽しむにできるような取り組みと生活リズムが整うような働きかけ(保護者とともに行う取り組み)を行う ・「毎日の生活の中で、必要な習慣を身につけ、自立心(自分でできる力)を育てる」 ・食育などを通して食事の大切さを学び、食べるのが大好きな子どもに育てる ・体ほぐしを毎日行うことで手足をしっかりと使い、リラックスしながら姿勢を保てるようにする ・発達や能力に応じてバランスよく全身を使いながら体を動かす楽しさを味わう ・自然の中で伸び伸びと体を動かして遊ぶことにより、体の諸機能の発達を促す	B A A B A A	B B A A A A A
くのを力人 気伝、自話 育ちを分を てに力の聴 る気、思っ づい	絵本やお話しを通して言葉の獲得、豊かな想像力(イメージする力・心情のよみとり)を育てる 安心できる大人との関係の中で話を聴いてもらううれしさを感じられるようにすることで、自分の思いを伝え、人の話を聞くようになる力を育てる	・絵本やお話しを通して豊かなイメージを持ち、言葉に対する感覚が養われるようにする ・ストーリーと自分の経験を結びつけたり、友だちと共有したりしながら表現を楽しむ ・思いや話を聴いてもらうこと心地よさを感じ、自分の思いをしっかりと伝えられる力を育てる ・会話をしながら人の話に興味を持ち、聞く力を育てる。また友だちと一緒に嬉しい気持ち、楽しい気持ちを共有したり、悲しい気持ちに共感したり人の気持ちに気づく	A A A B	A A B A
進みら遊子 めたらび て教め、も い育きとが く、を主 保大体的 育事きめ をに、に	「みたい」「しりたい」「やってみたい」「なんでかな」等遊びの中で感じられるようにし、思考力・理解力を養う 自然と触れ合う遊び、菜園活動、集団遊び、砂、水、泥遊びなど日々の遊びを集中して楽しめるようにする	・「自然」をテーマにした遊びを通して、ときめき、ひらめき、イメージを大切にしたい子ども主体の遊びを展開し、様々な経験の中で不思議に思ったり試したり挑戦する中で、考えようとする力や理解する力を育てる ・活動の中で子どもが気づきを発信したり、友だちの意見に耳を傾けたりする機会を大事にし、より深い学びに繋がるよう働きかける ・実体験を通して、様々な感覚を体で味わったり、遊びの中のルールを知ったりしながら、興味のある遊びを存分に楽しむ	A A A	A A A
つ携保園小 な機・中 なげ、関 る学など びども校 と地園・ 育域及び が育に に連関	2園交流(交流、菜園活動他)・小保交流・西の子まつり参加・出前授業の実施・体験学習の受け入れなどを行う 保幼小各園研修、公民区別研修、教育保育施設交流会、関西校区合同研修、キャリアアップ研修等に参加する 老人福祉施設訪問・お話し会・地域フィールドワーク等を実施する	・保育園・こども園の園児と小、中学校児童との交流、小学校教員との意見交流、授業参観、公開保育等、連携を通じて教育・保育の質の向上を図り、円滑な接続につなげる ・研修を通して学びを深め、乳幼児期に育てたい力が小学校以降の学びにつながるような指導計画を作成し、日々の教育・保育を実践する ・交流や連携を取り合い、地域での関係を深め、地域の方の協力を得ながら、堺の歴史や文化、地域の特性を生かした教育・保育を実施する	A A B	A A B
いと保 も成者 の長と 育を 一を を合 し合 いど	キッズビュー・フォトニュース・フォトフレーム・おたより行事・個人懇談・送迎時のコミュニケーションで教育・保育及び子どもの姿を伝える 育児講座・ほっこりくらぶの実施、園庭開放・サロン・ホット預かり・リフレッシュ預かり等での保育の提供、子育て支援課・保健センターとの連携等を行う	・教育・保育内容を保護者が理解し、親子で登園を楽しむにできるよう、教育・保育内容のねらいや様子を保護者に見える形で発信し、共有できるようにしている。 ・地域の関係機関や団体等と連携し、協力を図り、地域の親子が安心して利用できる施設として子育て支援事業を提供する	A B	A A
職員 向上 の資	研修会参加・園内研修・園内公開保育・チームアップ研修(人権研修)・各委員会・報告会・職員会議・特別支援保育会議・家庭支援会議 等を実施する	・研修などを通して、教育・保育実践を振り返り、質の向上を図ると共に専門性を高める ・理念や方針、教育・保育課程、マニュアルなどについて、職員同士が共通理解する	A A	A A
危機 管理 の意	災害訓練・不審者訓練・交通安全教室・リスクマネジメント委員会・安全点検・重大事故訓練・心肺蘇生法・AED訓練などを実施する	・危険な場所や遊び方、災害時の避難の仕方など、必要な約束事について学び、安全に気を付けて行動できるよう遊びや生活の中で伝える ・各種訓練の振り返りや、リスクマネジメント委員会での事故防止やリスクについての検証をし、安全、安心な環境づくりを行う	A A A	A A A

課題	具体的な取組方法	園長より
規則正しい生活習慣面の定着及び自立に向けた援助	家庭と連携し規則正しい生活習慣を身に付けられるよう園児及び保護者への健康教育を発信する。生活面の自立においては毎日、同じ生活の流れの中で同じ手順で繰り返し行う中で、園児が見通しを持ち意欲的に活動できるよう適切な援助をする。	園児一人一人にしっかりと寄り添い、特性を理解し適切な援助をし発達や成長を促す。そこから園児同士の仲立ちとなり集団での生活や遊びを充実させる。主体的に活動できる環境設定や自然を取り入れた体験など豊かに継続していく。
園児の主体性『ときめき・ひらめき・イメージ』を育む	園児が『ときめき・ひらめき・イメージ』を持ち感じるような仕掛けやきっかけづくりをして、園児一人一人の興味や関心を引き出し意欲的・主体的に活動できるよう働きかける。園児の年齢発達に即した遊びの提供や教育保育環境面の工夫を凝らし、次の活動への期待に繋がるようにする。	